

令和2年上半期の火災・救急・救助統計(7月9日時点速報値)



火災 出火原因1位は「放火の疑い」

上半期に発生した火災は58件で、昨年同時期と比較すると21件減少し、建物火災も10件減少しました。出火原因の1位は「放火の疑い(約19%)」でした。古紙や段ボールなどの可燃物を屋外に出しておくくと放火されやすくなります。放火を防ぐために家のまわりに可燃物などは置かないようにしましょう。

「ストーブ」が原因で発生した住宅火災が4件(住宅火災の約21%)ありました。ストーブの周りに、スプレー缶などの破裂の可能性があるものや、洗濯物や布団などの燃えやすいものは近くに置かないようにしましょう。

新型コロナウイルスの影響で、火災が増えている地域もあります。これは外出の自粛が続き、家で料理する機会が増えたことなどが原因と考えられます。早く火災に気付くために住宅用火災警報器を設置し、適切に維持管理しましょう。

火災概況

▲は減を示す

区分		令和2年上半期	前年上半期	比較
火災件数合計(件)		58	79	▲21
火災種別(件)	建物火災	27	37	▲10
	うち住宅火災	19	22	▲3
	林野火災	2	4	▲2
	車両火災	5	6	▲1
	その他の火災	24	32	▲8
死者(人)		2	2	0
負傷者(人)		1	8	▲7

出火原因

単位是件 ▲は減を示す

出火原因	令和2年上半期		前年上半期		比較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	7	1	5	3	2	▲2
こんろ	4	3	5	4	▲1	▲1
炉	0	0	1	0	▲1	0
焼却炉	0	0	1	0	▲1	0
ストーブ	4	4	3	3	1	1
排気管	2	0	0	0	2	0
電気装置	0	0	3	0	▲3	0
電気機器	1	1	1	0	0	1
内燃機関	0	0	1	0	▲1	0
電灯・電話等の配線	0	0	2	0	▲2	0
配線器具	2	2	6	4	▲4	▲2
火あそび	2	1	0	0	2	1
マッチ・ライター	2	0	0	0	2	0
たき火	7	0	16	0	▲9	0
衝突の火花	0	0	1	0	▲1	0
溶接機・切断機	2	0	1	0	1	0
灯火	0	0	2	2	▲2	▲2
火入れ	3	0	2	0	1	0
放火	0	0	3	1	▲3	▲1
放火の疑い	11	6	14	3	▲3	3
その他	6	0	3	1	3	▲1
不明・調査中	5	1	9	1	▲4	0
合計	58	19	79	22	▲21	▲3



救急 救急出動件数が減少

上半期に出動した救急件数は6,941件でした。事故種別では急病が4,431件と最も多く、全体の約64%を占め、次いで一般負傷が1,257件(約18%)、交通事故が419件(約6%)でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は990件減少し、搬送人員は919人減少しました。

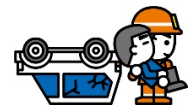
これは新型コロナウイルス感染症の対策として、マスクの着用や手洗い等が徹底されたことにより、感染症患者の救急搬送が減少したことが1つの要因であると考えられます。引き続き、感染症にかからないように新しい生活様式を継続しましょう。

救急概況

▲は減を示す

区 分	令和2年上半期	前年上半期	比 較
出 動 件 数 (件)	6,941	7,931	▲990
事 故 種 別 (件)	急 病	4,431	▲579
	一 般	1,257	5
	交 通 事 故	419	▲196
	そ の 他	834	▲220
搬 送 人 員 (人)	6,323	7,242	▲919

救 助 建物等による事故が増加



上半期の救助件数は76件でした。そのうち、交通事故が32件で全体の約42%を占め、次いで建物等による事故が26件、それ以外の事故18件でした。

近年、建物等による事故が増加傾向にあります。その多くは、高齢者が建物内に居るが外からの呼びかけに応答がない、という事故内容でした。

なお、救助につきましては、新型コロナウイルス感染症に係る特別な傾向は見られませんでした。

これからは、台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、高潮による自然災害が発生しやすい季節です。防災気象情報を有効に活用し、早めの行動を心掛け、危険な箇所には近寄らないように注意しましょう。

救助概況

▲は減を示す

区 分	令和2年上半期	前年上半期	比 較
出 動 件 数 (件)	76	77	▲ 1
救 助 種 別 (件)	交 通 事 故	32	▲ 7
	水 難 事 故	4	▲ 3
	機 械 による事故	0	▲ 2
	建 物 等 による事故	26	9
	上 記 以 外 の 事 故	14	2

問い合わせ

- ・ 火災 予防課違反指導担当 ☎254-0356 FAX 256-7755
- ・ 救急 消防救急課救急担当 ☎254-1600 FAX 254-1607
- ・ 救助 消防救急課消防・救助担当 ☎254-1601 FAX 254-1607